

# 松ヶ鼻用水

## 場所・施設概要



- ▶ 場所 越前市、鯖江市
- ▶ 水源 日野川
- ▶ 延長 4,690m(幹線用水路)  
親水公園 3ヶ所、親水水路等 5ヶ所
- ▶ 受益農地面積 915ha  
(旧松ヶ鼻用水)
- ▶ 流量 3.7 m<sup>3</sup>/s



松ヶ鼻頭首工

## 歴史

松ヶ鼻用水の歴史は、奈良時代の養老年間(720年頃)からとも伝えられていますが定かではなく、これ以後、徐々に農業用水の姿が形成されてきました。しかし、広大なかんがい区域の水需要に対し、その量は不足がちであり、昭和36年から昭和51年にかけて、それまで日野川に設置してきた木工沈床に変わるものとして、松ヶ鼻頭首工と幹線用排水路が整備され、ようやく安定した用水が確保されました。その後、農業情勢は大きく変貌し、機会の大型化や営農の集団化に対処すべく、更なる有効活用を目的として、昭和56年から水管理システムの導入等が行われ、日野川用水のひとつとして平成16年4月から供用を開始しました。また、平成11年からは生活用水や環境用水としての機能を増進するため、各地に地域の方と協働で親水施設等が整備されています。

参考：松ヶ鼻用水沿革史(松ヶ鼻用水土地改良区)

## 地域での役割

現在の松ヶ鼻用水は、日野川を水源とし、松ヶ鼻頭首工により取水され、かんがい用水として水田を潤すとともに、地域の景観保全や生活用水として活用され、地域用水としても役立っています。

また、自然環境の保全や親水のための水路が整備され、地域の幼稚園児や小学生による田んぼの生き物調査など、環境学習の場としても利用されています。



環境学習(生き物調査)

## 管理状況

用水および施設の管理は、主に松ヶ鼻土地改良区や日野川土地改良区が行い、地域住民との協働により花壇づくり等の緑化が行われています。



地域住民による清掃活動

## 用水の状況

親水公園、親水路での活動光景

● 親水公園など

